



まちづくりについて、若者が議論する！ 三木若者ミーティング

若者にも魅力あるまちをめざして、市の施策や事業などに若者の意見を取り入れるため、市では令和2年度から毎年若者ミーティングを開催しています。

参加者は市内外の大学・高校からの有志45名(令和5年度)で、今回は2年間にわたって他校の生徒と協力しながら、三木市の強みや課題などの研究・議論を通して、未来に向けたアイデアを創出します。

問 (市)縁結び課
地方創生係



▲ホームページ
はこちら



若者ミーティングの流れ



自分の考えを持ち、共有することの楽しみを知った

高校の授業で地域ボランティアに参加したところから、一つの課題に対して周囲の人と一緒に考え、取り組むことへの興味が強くなっていました。その時に三木若者ミーティングのことを知り、高校1年生から**4年にわたって参加**しています。

一昨年のテーマ「三木の事業者と協力して商品開発プロジェクト」では、三木の金物の良さをどうしたら子どもたちに伝えられるかを考えました。

兵庫大学 現代ビジネス学部
現代ビジネス学科 1年
(県立三木北高等学校卒業生)
大石 心菜さん



実際に子どもたちと触れ合う中で「金物」のこの理解が進むのは4~5歳だということが分かり、子どもたちと金物をつなぐ最初のきっかけとして何が良いかを考えた結果、「金物のしおり」を作ることになりました。

試作品を受け取った子どもたちが喜んで絵本にしおりを挟んでいたと聞いたときは、自分たちのアイデアが形になる喜びを実感しました。

もともと周囲に合わせて行動することが多かった私ですが、若者ミーティングでの**一連の経験をと**おして、「**自分の意見を持つこと**」の大切さを知ることができました。今後もボランティアなどへの参加を続けつつ、**将来は地域を元気にする仕事をしたい**と考えています。

編集発行：三木市総合政策部秘書広報課 ☎0794-82-2000(代) 〒673-0492 上の丸町10番30号 <https://www.city.miki.lg.jp/>

広報みきは新聞折込(日刊紙)、宅配でお届けしています(点訳版・音訳版もあり)。新聞未購読の方や点訳版・音訳版をご希望の方は(市)秘書広報課までご連絡ください。

人口(8月末現在) 74,268 (一) 67) 男: 35,848 (一) 33) 女: 38,420 (一) 34) 世帯数: 34,646 (一) 14)